



結 う

11月の事業から

生涯学習部会研修 防災教室 ～ マイ・タイムラインをつくる ～

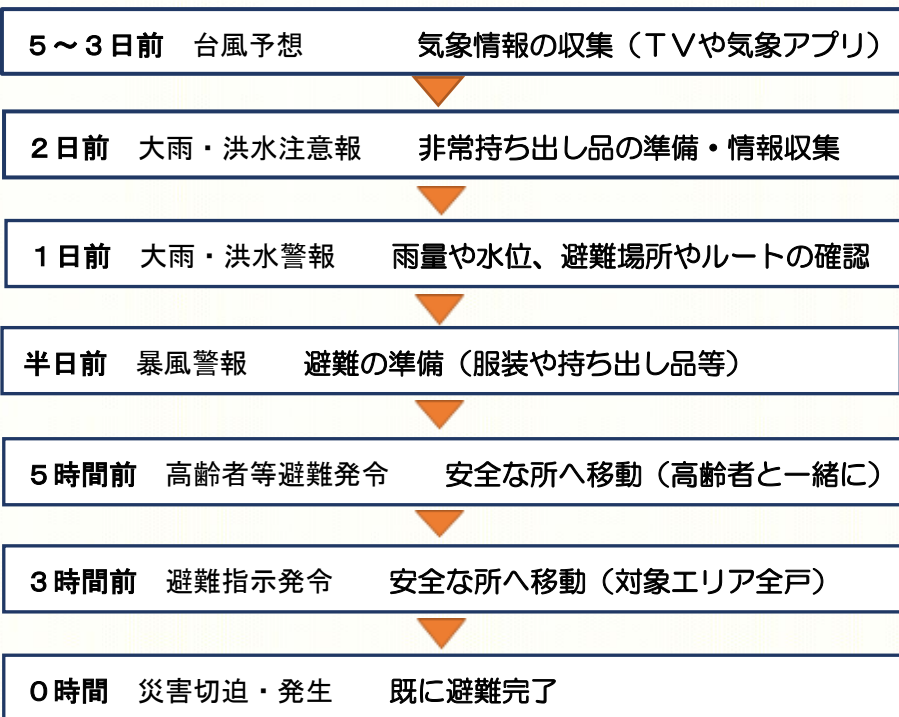
11月24日(木)に生涯学習部会委員と事務局員合わせて11名が防災教室に参加しました。講師の市総務企画部危機対策課の加賀谷秀昭専門員から、前段は近年の全国や横手市の河川の氾濫や土砂災害などの自然災害の事例の解説をしていただきました。河川の本流の勢いに押され支流が氾濫するなど、洪水の被害にも様々なケースがあることが分かりました。

後段は、河川の氾濫よりもリスクの高い土砂災害を想定してマイ・タイムラインの作り方を学びました。まず、既に全戸配布されているハザードマップで自宅が土石流や土砂崩れ、雪崩などの災害対象エリアになっているか確認しました。

マイ・タイムラインとは？

台風や大雨などで災害の恐れがあるとき、あわてずに行動するために、いつ、何をするのかを事前に（家族で）整理しておくこと

気象情報の収集から避難完了までのイメージは右のような流れになります。(あくまでサンプルです) 家族が自宅にいた場合、職場や学校にいた場合など、具体的なケースを想定して話し合い、マイ・タイムラインを作っておくことが、いざというときの命を守る行動につながることを学びました。



- ★ 防災に関する情報を得るために ★
- NHKデータ放送(dボタン)
- 横手市 安全・安心メール
- ※ 横手市安全安心メールの登録をお願いします
- キキクル(気象庁HP)
- MINEBA(秋田県南情報アプリ)

山内公民館図書室からの お知らせ!



12月22日(木)午前中は蔵書点検のため、図書の貸し出しができません。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。※図書の返却はできます。

横手市の小・中学校はコミュニティスクールになりました

～ 地域に開かれた学校から地域とともにある学校へ ～



コミュニティスクールとは、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む仕組みである「学校運営協議会制度」を取り入れた学校のこと。横手市では地域ぐるみで子どもを育み、「地域とともにある学校づくり」と「持続可能な地域づくり」を目指しています。

学校運営協議会とは、保護者や地域住民代表者(地域で主体的に活動している団体、事業所、個人等)と学校で組織する会のこと。これからは地域と学校が目標やビジョンを共有し、パートナーとして協働活動に取り組むことが期待されています。

令和4年度

山内小学校コミュニティスクール基本構想

※第1回運営協議会資料より

学校と地域の連携・協働による取組

貢献・奉仕

主な取組 【お年寄りとのふれあい】
 ・ふれあいの手紙
 ・福祉施設との交流(訪問、いもこの贈呈など)
 【伝統芸能の継承・披露】
 ・御嶽清流太鼓

連携・協働

主な取組 【地域のよさの発見】(生活科、総合的な学習の時間等)
 ・「未来の山内をデザイン」「見つめよう!大切にしよう!私たちのふるさと」
 ・「山内のキラッとを探そう・知ろう」「大好きいっぱいわたしのまち」
 【地域作物の栽培と活用】
 【地域環境の創造】
 ・山内いものこ、山内人参の栽培 等
 ・学校林活動(学校林整備、木工体験等)

支援・評価

主な取組
 ●地域コーディネーターや各種ボランティア等による支援
 ●学校運営協議会 ●ミニ熟議 ●学校評価・各種アンケート等の結果開示 等

学
校

地
域
・
家
庭



山内小学校 SDGs やまばと農園展

地域局にお越しの際はお立ち寄りください!

山内地域局だより12月1日号でもお知らせ済みですが、先月から山内地区交流センター前に、今年度の種苗交換会学校農園展で見事に県教育委員会教育長賞を受賞した、山内小学校やまばと農園の取組と賞状と盾、作文、収穫した作物を展示しています。

これまでもやまばと農園の活動では、平山民男さんや石沢英夫さんのような「地域の先生」の指導を受け、山内の特産物を栽培してきました。上図の学校と地域の「連携・協働」に当たる活動と言えます。これを持続可能な社会づくりを目指すSDGsの観点から、自分たちの学習活動が解決すべきどんな課題と結びつくのか捉え直しています。高橋杏寧さんや小林幸来さんの作文にもそのことが書かれています。



SDGs: 持続可能な世界の実現に向けて解決すべき17の国際目標と169のターゲットと232の指標のこと